

# 海況情報【内湾湾口観測結果】

愛知県水産試験場漁業生産研究所

令和6年8月8日

## 【観測結果（調査日：8月1、5、8日）】

8月1日に渥美外海、5日に伊勢湾、8日に三河湾の観測を実施しました。

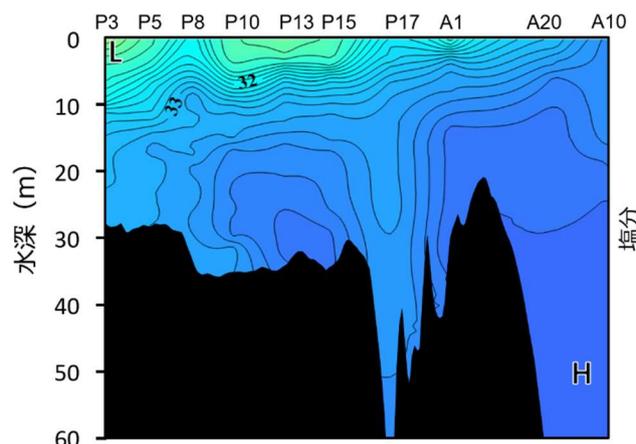
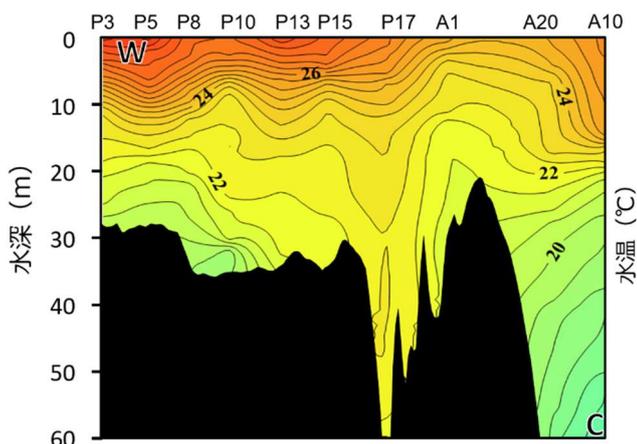
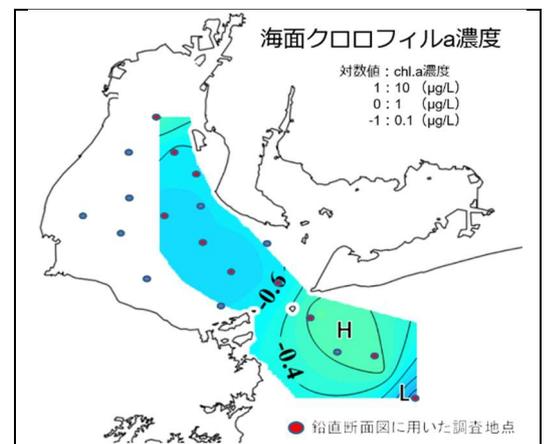
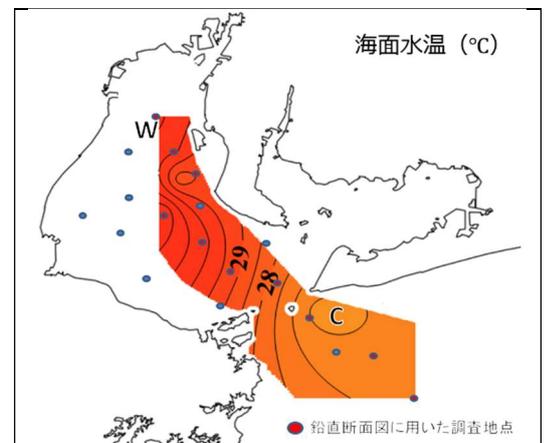
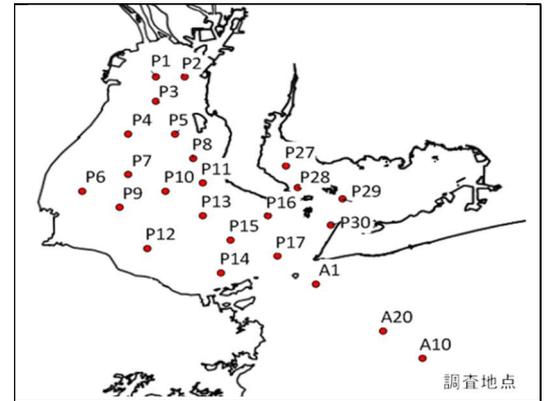
## 【水平分布（調査点：P3～A10）】

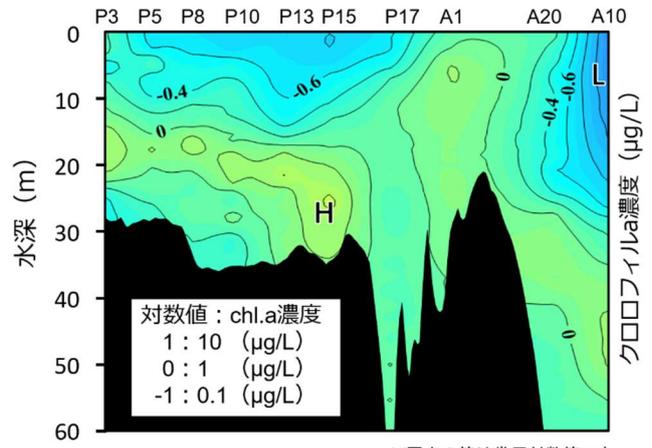
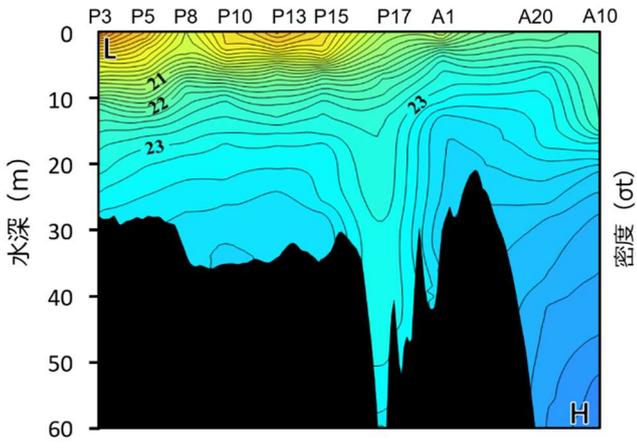
海面水温は、日射と気温の上昇の影響により内湾の湾奥が最も高く、潮流が強いために鉛直混合が激しい影響で湾口付近が最も低くなっています。

海面のクロロフィル a 濃度は、湾口付近で最も高くなっています。

## 【鉛直分布（調査点：P3～A10）】

日射と気温上昇、河川水の流入によって伊勢湾の表層は、高水温かつ低塩分の軽い水が分布しています。そのため、成層が強まり、海水が上下で混ざりにくくなったことで、酸素供給の乏しい湾奥の水深 20m 以深に貧酸素水塊（溶存酸素濃度 30%以下）がみられます。一方で、湾央（P10～P15）付近では、海底付近に貧酸素水塊が形成されておらず、外海水の進入があったと考えられます。





※図中の値は常用対数値です

